

平成28年度大阪矯正管区教誨師研修会評価委員会議事録

1 実施日時

平成28年12月12日（月）午後2時から同3時まで

2 実施場所

大阪矯正管区会議室

3 出席者

(1) 事業者

大阪矯正管区教誨師連盟会長 松浦寛法

大阪矯正管区教誨師連盟副会長 前阪良憲

大阪矯正管区教誨師連盟副会長 時久忠夫

その他管区連盟教誨師11名

(2) 部外関係者

大阪矯正管区成人矯正第二課 川口亜希子

4 評価方法

当日の出席者にアンケート用紙を配布し、97名分を回収、その回答も参考にしながら大会を検証した。

5 研修の成果

アンケートでは、97名中85名が「研修内容が適切であった」旨回答していた。新たな試みとして班別座談会を取り入れたことで、多くの参加者が発言でき、他の教誨師の経験を共有し合える良い機会となった。

また、研修会の成果については、74名が研修成果を肯定的に捉えており、こちらも成果が認められたと言える。サブテーマ「人は出遇いによって輝く。」に沿い、浅田正博龍谷大学名誉教授に「生かされる命を見つめて」という題で、学生の自殺や墮胎に関する意識を通して、命の尊さについて御講演いただいたことで、若い世代の死生観やどのような出遇いが人としての生きる道を見出すことにつながるかについて、参加者も認識を共有することができた。また、その講演をテーマに班別座談会を行い、その後講師に座談会へ御講評いただいたことで、一貫性のある研修が実施できた。

以上のことから、研修会として大きな成果が認められる。